



佐藤 幸一 議員



本通りの街並み。正面に見えるのはJR十勝清水駅

駅周辺の整備計画は

町長 情報収集し可能性を探る

問 駅はその町の顔とされているが、現在のJR十勝清水駅とその周辺はその役割を果たしていない。現状、列車に乗車するには跨線橋を渡らなければならない。駅前には空き地、営業していないホテル、シャッターが下りたまの店舗が点在している。多くの町民が集い、長く滞在する場として、駅と駅周辺を整備し、賑わいを取り戻す必要があると考えるがいかがか。

町長 駅およびその周辺の再整備の必要性は認識しているが、駅舎やホームの問題、本通りを中心としたエリアの設定など、いくつかの課題を整理しなければならぬ。また、財源の確保も重要であり、今後も情報収集を行うとともに、有効な制度があれば機会を逃さず、駅前周辺の賑わいづくりとまちの顔としてふさわしい街並みを模索してその可能性を探る。

教育長 次年度へ向けた新たな取り組みとして、以前から話のあった高校生の昼食の問題について、町内のパン屋さんから「高校に出向いて販売してもよ

問 高等学校がある十勝管内の自治体では、海外研修の実施、iPadやタブレットの導入、Wi-Fi環境の整備、通学費の補助など、学校の魅力を高めるための施策や保護者の負担を軽減するための施策を独自に行っている。ここ2年、新入学生の定員割れが続く清水高等学校の4間口維持のため、次年度に向け、どのような対策を考えているのか伺う。



清水高校生徒会の様子

答 い」との話をいただき、現在、高校が実施に向けて検討を行っている。また、通学の利便性について、改善に向けて検討している。教育委員会では、若手職員を中心としたプロジェクトチームにおいて、高校生と中学生を対象に行ったアンケート調査を基に、清水高校生徒会と

教育応援プロジェクトによる会議を重ねるなかで、生徒の目線を大切にした清水高校の振興策について協議している。いずれにしても、子どもたちに通いたいと思われる学校、保護者にとつて通わせたいと思われる学校として、清水高校の魅力をもっと高めるための支援を継続していく。

清水高等学校 4間口維持に向けた対策は 教育長 生徒の目線で振興策を協議



佐藤 幸一 議員 7ページ

- 1 JR十勝清水駅および周辺の整備について
- 2 清水高等学校の間口維持対策について



山下 清美 議員 8ページ

- 1 ひきこもりについて
- 2 身体障がい者支援について
- 3 合同納骨塚について



口田 邦男 議員 9ページ

- 1 人手不足の現状と対応について
- 2 日米協定・TPPによる影響と対応について
- 3 ふるさと納税の現状と対応について



中河 つる子 議員 10ページ

- 1 国民健康保険税の軽減について



川上 均 議員 11ページ

- 1 「災害廃棄物処理計画」の策定について
- 2 空き家対策の総合的な取り組みについて



鈴木 孝寿 議員 12ページ

- 1 事業計画と事業検証における考え方について
- 2 給食費無料化の公約よりも少人数学級の推進を



深沼 達生 議員 13ページ

- 1 法定伝染病等の防疫対策について
- 2 防災対策について



高橋 政悦 議員 14ページ

- 1 公園利用の現状と公園の在り方について
- 2 街灯・防犯灯の在り方について

町政を問う！

一般質問

12月定例会では
8人の議員が
17項目にわたり
一般質問を
行いました
質問と答弁は
要約して
掲載しています

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。